

安城まちの学校セミナー 発達凸凹って知ってる？

特定非営利活動法人 安城まちの学校

〒446-0063 愛知県安城市横山町浜畔上 33-1 MC スクエアビル 1 階

助成事業の概要

<実施目的>

安城市内の発達凸凹で悩む保護者や関係者に向け、専門家による勉強会の必要性を認識し開催した。安城市内に児童精神科医がおらず専門医受診には市外に赴く必要があること、受診も半年や1年待ちであり医療に繋げるまでに時間がかかる。また市内に発達相談支援センターがあるものの、希望者が多く検査や相談の予約にも時間がかかる。以上のことから悩む保護者に寄り添い、悩みを解決する手段としてセミナーを開催した。

<時期・内容>

第1回 2023年9月2日(土)

講師 細井 晴代

(愛知教育大学非常勤講師 発達支援教室クローバー代表)

「えっ！これだけでいいの！？子供が1ヶ月で変わる本当の療育」

第2回 2023年10月14日(土)

講師 中野 慎一郎

(NPO法人ぎふと 副理事長)

「父が1人で障害児を育てるとのこと」

事業の成果

セミナー全2回 参加者全62名

専門家と当事者家族を招き多くの人に学習する機会を提供することができた。想定人数は各20名

だったが、想定より多く申込があり、会場都合や日程の関係で参加できない方も多くいた。

・第1回目セミナー 参加者42名

子供の具体的な発達凸凹とそれに対する対処法、凸凹で苦しむ子供の気持ちを事例を交えて解説して頂いた。保護者と子供が適切な関係を築くために必要な取り組み、日頃の心構えも伝授して頂いた。個別の質疑応答では多くの人が質問の列に並び、個別相談の必要性を認識した。

参加者は障害のある子供がいる当事者が中心であったが、障害の有無に関わらず悩む保護者の参加者も多かった。当法人のことを知らず初めて参加したという方も多く、セミナー参加者のうち半分の21名は今後のセミナーの案内を希望した。アンケートでは愛着形成の重要性や、「甘え」と「甘やかし」の違いについて理解が深まったという声が多く見られた。

・第2回目セミナー 参加者20名

母親の病気発覚から闘病、死去後の生活を重度障害の子供と父がどのように乗り越えていったのかをお話し頂いた。障害のある子供が母親の死を理解するまでの過程や、リアルな父子生活の実態、福祉サービスをどのように組み合わせているのかを体験談と共に紹介頂いた。参加者は障害のある子供を持つ保護者であり、男性の参加者も多く見られた。アンケートでは感想や思いを詳細に記入して頂く方ばかりであり、自身に置き換えて深く考えている方が多い印象であった。実体験に基づいた話であり、個別質問の時間では熱心に相談

する方がいらっしゃる他、会場出口で先生と話し込む方もいらっしゃった。第1回目は専門家兼当事者によるセミナーだったが、どちらかという専門家視点で話して頂いた。そのため今回の当事者の体験談を中心としたセミナーも必要性があると実感した。

2回のセミナーを通しアンケートで満足度を計測した。非常に満足・満足の割合は2回共95%であり大変好評であった。直接感想を伝えてくださった方もおり、アンケートの感想欄でも再びの開催を希望する声が多かった。参加者の中には後日当法人の放課後等デイサービスを契約する方もいた。全体を通し、安価に学習の機会を提供できたことで参加者が増え、高い満足度に繋がったと感じられた。ターゲットは第1回目は障害の有無に関わらず幅広い方々、第2回目は障害のある子供を持つ当事者であったが、ほぼ狙い通りに参加者が集まった。「療育」と「障害」という言葉が人に与える印象を再認識すると共に、参加者も悩みを抱える中で勇気を出して参加する方もいたことが理解できた。

成果の広報・公表

安城まちの学校ホームページにて内容について報告。当日の写真やセミナー内容を簡潔にまとめた動画等を公開。アンケート集計も行い内容を公表した。

セミナーに参加できなかった方、当法人の他の活動に参加している保護者や関係者の方々に広く事業を知らせることができた。

ホームページ URL

<http://anjo-mg.jp/pg1771.html>

今後の展開

安城市内において子供の発達に悩む保護者が学ぶ機会を作ることの必要性を認識した。次年度以降も何らかの形で保護者や一般の方々に広く学ぶ機会を提供できればと考えている。

今回のセミナーは市外からの参加者も多く、安城近隣での需要があることが把握できた。今後のセミナー開催の声や希望テーマもあり NPO 法人として市民に寄り添い、企画を提案する必要がある。発達障害は社会で広く関心を持たれているテーマであり、当法人が掲げる「共生社会実現」の理念とも合致する。今後も悩める市民に寄り添い、一つでも多くの声を拾い上げて活動に繋げていければと考えている。